



綿っ子通信



令和6年11月15日発行 No.12

11月13日 全校集会 人権集中学習 「ちがい」があることを「ふつう」にするには…

綿打小学校では、今日から世界人権デーの12月10日（火）までの期間を人権集中学習期間として、クラスや学校全体で「人権」について考えたり、「人権」に関するビデオを見たり、お父さんやお母さんにも手伝ってもらいながら学習をしていきます。

「人権」って難しい言葉だけど、少し簡単に言うと「誰もが生まれながらに持っている、人間らしく幸せに生きる権利のこと」。みんな人間なんだから持っていてあたり前じゃないかと思うかも知れませんが、そのあたり前の「人権」が奪われてしまったり、無視されてしまったりすることがあるんです。そんなことはあってはならないし、人権が必ず守られるためにも、毎年、人権集中学習を行っています。今日から「人権を守る、大切にする」ためにしっかりと学習しましょう。

さて今日は、「ちがってなんだ？」についてお話をします。

例えば食について。私は、豚肉、牛肉、鶏肉を「ふつう」に食べますが、アフリカのジンバブエという国では、豚肉、牛肉、鶏肉に加えて、ゾウの肉も「ふつう」に食べます。東南アジアのパプアニューギニアという国では、芋虫も「ふつう」に食べます。どうやら、私の「ふつう」とジンバブエやパプアニューギニアの人の「ふつう」は違います。

この他にも、さまざまな「ふつう」の違いがあります。男と女の「ふつう」、障害のある人となない人の「ふつう」、国や文化、宗教に属する人たちの「ふつう」など、私たちの周りには当たり前のように「ちがい」があります。この「わたしのふつう」と「あなたのふつう」が違うのは当たり前だということを世界の人を例にして教えてくれる「せかいのひとびと」という本があります。その本の最後の部分を少し読んでみましょう。

若い人や年とった人、病気の人や元気な人、幸せな人や不幸せな人、親切な人や不親切な人、強い人や弱い人、人々はどこにでも住んでいる。そして、みんながそれぞれに違っている。**ある人たちは、自分と違っているというだけでよその人たちを嫌う。そんなことっておかしいよ。その人たちは、自分たちだって他の人から見れば違っているってことをわすれているんだ。**誰もが思っていることも、食べるものも、着るものも、何でも全部同じだったら、死ぬほどたいくつ。ほらね、私たちみんながみんな、それぞれこんなにちがっているってすてきでしょ？



「ちがい」があることはあたり前なのに、それを嫌ったりいじめたりする人がいるようです。どうすれば「ちがい」があることを「ふつう」にすることができるのでしょうか。クラスやお友達と話し合ってほしいと思います。みんな考えてみましょう。

運動会 団長さんの一言感想！

赤城団 団長 馬場音愛さん

この運動会をよくするために協力してくださった皆様
本当にありがとうございました！

榛名団 団長 関口雄飛さん

最高の運動会を創っていただきありがとうございました！

妙義団 団長 YAMADA ALYSSAさん

妙義団は、惜しくも2位だったけど、
今までで一番楽しい運動会になりました！



11月1日 5年家庭科 出汁の飲み比べ

5年生が家庭科の時間を使って、栄養教諭の今井先生から「出汁」について学習しました。

かつお、こんぶ、煮干し、あわせ出汁の4種類の出汁を飲み比べて、和風料理の味付けの基礎とも言える出汁の味や香り、そしてそれぞれの旨味を体感しました。



【児童の感想】

- 出汁には、それぞれ違った味や匂いがありました。家で出汁を作るときは思い出しながらつくっていきたいと思います。
- 種類によって出汁の取り方が違うことや給食に出てくるお味噌汁にも出汁が使われていることが知れてよかった。

※学校ブログ（学校ホームページ）にも、たくさんの画像やコメントを掲載しておりますのでご覧ください。

QRコードはこちら→→→

